



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 つくば市立今鹿島小学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第3学年 36名 第4学年 32名 第5学年 30名 第6学年 31名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (オリンピック・パラリンピック教育推進事業) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックの講話を聞いたり、演習を通してオリンピックスポーツを疑似体験したりすることで、運動やスポーツに対する視野を広げ、積極的に運動やスポーツに関わろうとする態度を育む。
5 取組内容	<p>○オリンピックによる講話及び演習</p> <p>1. 実施日 令和3年11月9日(火)</p> <p>2. 時間 10:40~11:25 3・4年生 11:30~12:15 5・6年生</p> <p>3. 講師 千田 健太(ちだ けんた)選手 ロンドンオリンピック フェンシング競技 銀メダリスト</p> <p>4. 対象 第3学年~第6学年(129名)</p> <p>5. 事前指導 東京オリンピックで行われた競技やピクトグラムについてふれ、オリンピック・パラリンピックについて関心を高める指導を行った。</p> <p>6. 講演会当日 【会場設定】</p> <p>・「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」と書いてある横看板や千田選手を紹介するポスターを体育館に設置し、会場の雰囲気づくりをするとともに、講師席やスクリーンを設置した。</p>
	 

【講師入場】

- 千田選手が入場の際、拍手で迎えた。



【講演】

- 自己の経歴について紹介していただいた。



- フェンシングとの出会いやロンドンオリンピックでの活躍についてお話していただいた。

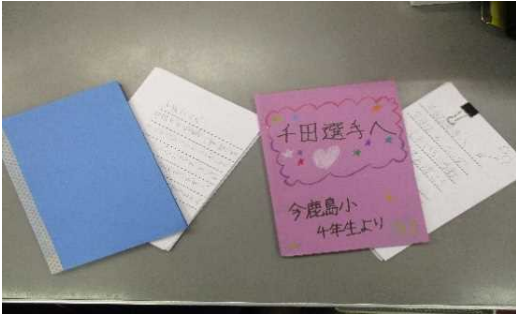


- フェイシングの構えについてご説明いただき、児童も取り組んだ。



- 的役の先生に風船をつけ、フルーレで突く風船わりを行った。千田選手と各学年の代表児童が行った。



	<p>【事後指導】 お礼の手紙を書くことで活動を振り返り、自己の今後の運動やスポーツへの取組について考えさせる機会とした。</p> 
6 主な成果	<p>○事前指導の段階では「フェンシングというスポーツを知らない」と答えた児童が多かったが、本活動を通して「フェンシングって面白い」「他の種目も知りたい」と考える児童が増加した。</p> <p>○千田選手への手紙に「オリンピック・パラリンピックのフェンシングをもっと見たい」「わたしもいろんなことにあきらめずに挑戦することを大切にしたい」と書いた児童が多かった。本活動のねらいである「運動やスポーツに対する視野を広げ、積極的に運動、スポーツに関わろうとする態度を育む」ことにつながったと考える。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○本校は、習い事としてスポーツに取り組んでいる児童が多い一方、運動することに対して苦手意識をもっている児童もいる。そこで、夏に行われた東京オリンピックについて触れ、オリンピックやスポーツに関心をもって講演に参加させ、ねらいを達成できるように配慮した。</p> <p>○全員で行うことが可能なデモンストレーションと、代表児童によるデモンストレーションの両方を取り入れることで、児童参加型の講演とし、児童がフェンシングに強い関心をもてるように配慮した。</p>
8 主な課題等	<p>・オリンピックと触れ合うことで、オリンピックやオリンピック種目について考えを深めることができたが、パラリンピックやパラリンピアンについて考える機会をあまり確保することができなかった。パラリンピックや障害のある方の生き方や共生について事前に触れておくことでオリンピックとパラリンピックについての理解を深めることができると考える。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○コロナ禍により、今回は3～6学年のみの実施となった。1、2学年の児童にもスポーツを楽しむ気持ちを大切にしてもらいたいと考えるため、全学年を対象に実施したいと考える。</p>